



12月号

園長だより

H28. 11. 25
新渡戸文化子ども園

「成長」と「感動」

先日、移動動物園の際、テープカットがあり動物園が開園するという流れでした。その日のお給食時に年長組の食べている様子を見に行くと、、、

「園長先生！さっきのテープカットかっこよかった！でも、テープが長くてリボンがたくさんあるから何人もで切ったほうが良かったと思うよ。」と、K君。

「そうそう。テレビで見たことある！そして、テープを切った時に、パーってカーテンを開けたほうが良かったんじゃない？」と、Yちゃん。

次々にテープカットについての意見があちらこちらから飛び出しました。私にとっては、その工夫して考え、アウトプットする姿は大きな驚きと喜びでした。

新渡戸文化子ども園の目指す子ども像「まっすぐに夢を見る子」となるために、年少では「丈夫で元気な子」年中では「生き生きと興味を持つ子」年長では「工夫して考える子」を目標としています。

丈夫で元気に登園し移動動物園を楽しみにし、自分を取り巻く事象、テープカットについて生き生きと興味をもち、そしてそれについて工夫してより良いものにしよう先生にも意見が言えるようになっている。

「その成長に感動！」でした。

パンバイキングでは、一緒に座った年長組のRちゃんは、以前Rちゃんが年少の時にバイキング給食時に一緒に座った事がありました。年少時には、紙パックのストローをさせずにいたので、さしてあげた記憶がよみがえり、

「まあ。自分でストローをさせるようになったのね。大きくなってできることが増えたんですね。」

と、できたことを言葉にして伝えました。すると、とても嬉しそうに笑顔になりました。そして、隣に座っていた年少さんのお友達がストローをさしにくそうにしていると、自然のそっとさしてあげていました。

「その成長に感動！」でした。

からあげとこづゆのお給食作りをし、子どもたちの食事の様子を見に行くと

「園長先生！おいしいからあげ！ご飯と一緒に食べる！」

「銀杏が苦い！けど頑張って食べたよ！」と、うれしいお話をしてくれました。「ありがとう。」と言い部屋を出ようとする、

「園長先生に、作ってくれてありがとうってみんな言ったの？」と年中組のY君。

「その成長に感動！」でした。

子どもたちの日々の成長に心から感謝です。

